

コンテンポラリーアニメーション入門

～現代短編アニメーションの見取り図～ オンライン



Introduction to
Contemporary
Animation

我々の同時代にどのようなアニメーション作家が、どのような意識で作品を制作しているのでしょうか。短編アニメーションは常にアニメーション映像の可能性の最先端を走っています。しかし、実際に製作者や観客の興味の増幅ほど、短編アニメーションを見て知る機会は増えてはいません。まずその基礎知識を共有して、コンテンポラリーアニメーションの見取り図を描くことがこの公開講座の目標です。東京藝術大学大学院映像研究科では、世界的に「いま」を象徴する作家の作品の鑑賞を中心に、講義を公開で行います。

第34回講座

2009年7月に始まった公開講座「コンテンポラリーアニメーション入門」は、現代アニメーションシーンのここ10年間の動向を振り返り、これまでの講座で紹介できなかった優れた短編を集めて、山村浩二の解説で上映します。

演題：現代アニメーション10年の動向

主催：東京藝術大学大学院映像研究科、横浜市文化観光局

開催時間：第一回 2021年3月12日（金）午後6時～午後8時

第二回 2021年3月13日（土）午後6時～午後8時

参加無料／事前申し込み制

申し込みフォームから事前予約をお願いします。当日視聴できるURLとパスワードを発行致します。

申し込み締め切り：2021年3月11日（木）午後6時まで

申し込みフォーム：<https://forms.gle/rGibjIsUyESCnLZ38>



QRコード

お問い合わせ先：東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻
E-mail：anim_contact@ml.geidai.ac.jp 専攻 web サイト：<https://animation.geidai.ac.jp>
詳細はホームページをご覧ください。 <https://animation.geidai.ac.jp/ca/>

作品上映：「ブライ通りII」2013年、9分40秒、ニンケ・ドゥーツ監督
「会話」2015年、6分、アナ・ホルバット監督
「卵」2018年、12分、マルティーナ・スカルベリ監督
「熊の時刻」2019年、14分、アグネス・パトロン監督
「衝動」2019年、6分40秒、ペドロ・カサヴェッキア監督
「ゲニウス・ロキ」2020年、16分、エイドリアン・メリゴ監督

オンライン開催 Vimeoのライブ配信

第一回、第二回とも同じ内容ですが、上映後、講師の山村浩二氏との質疑応答の時間をライブで設けます。



企画・講師

山村浩二

東京藝術大学大学院映像研究科
アニメーション専攻教授

1964年名古屋生まれ。『頭山』がアヌシー、ザグレブ、広島をはじめ6つのグランプリを受賞、アカデミー賞にノミネートされる。また『カフカ 田舎医者』がオタワなど7つのグランプリを受賞。2011年には日本人初のNFBとの共同制作『マイブリッジの糸』を完成。2021年、22人の有識者により、過去25年間の優れた短編監督25人のトップ2に選ばれた。川喜多賞、芸術選奨文部科学大臣賞受賞ほか、アニメーション作品の国際的な受賞は100を超える。米国アカデミー賞（映画芸術科学アカデミー）会員、国際アニメーションフィルム協会理事、日本アニメーション協会副会長。